

株式会社中静工業所 エコアクション21

2019年度 環境経営レポート

対象期間:2019年6月1日～2020年5月31日



飯田事業所



下野工場



松野工場



高橋工場



内田事業所



九州佐賀工場

No	項目	頁
1.	環境経営方針	1
2.	事業概要	2-4
3.	環境経営目標とその実績	5-11
4.	主要な環境経営計画の内容	12
5.	環境活動内容（取組み状況）	13
6.	環境経営活動の取組結果の評価	14
7.	次年度の取組み内容	15
8.	環境関連法規等の取りまとめ	16
9.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	17
10.	代表者による全体評価及び見直し・指示	18

1. 環境経営方針

〔環境理念〕

株式会社中静工業所は、ハーネス等電装品の生産活動を通して、全員参加で環境保全活動に取り組む

〔基本方針〕

(1) 環境保全活動は、次の項目を重点活動として継続的改善に取り組めます

- ① 二酸化炭素排出量の削減
※電力使用量と軽油投入量の低減
- ② 廃棄物排出量の削減
※3R活動による廃棄物の削減
- ③ 水道使用量の削減
※一般生活用水の節水意識向上
- ④ 化学物質使用量の把握
※適正量の購入維持
- ⑤ 環境に配慮した製品作りの推進
※梱包方法等の見直し、不良品率の低減
- ⑥ 環境負荷低減と費用低減を両立

(2) 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します

(3) 環境に配慮した製造活動を中心に、環境経営の継続的改善を実施します

(4) 社内へは環境方針を全従業員に周知徹底を図り、社外へもHPを通じて環境経営レポートを開示します

制定：2008年 5月 10日

改定：2019年 11月 30日

株式会社中静工業所
代表取締役社長 名倉 光雄

2. 事業概要

(1) 組織の概要

2020年07月20日現在

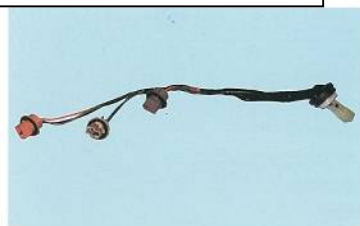
会社名	株式会社 中静工業所					
代表者	代表取締役社長 名倉 光雄					
資本金	6000万円					
売上高	44.9億(2019年6月～2020年5月)					
事業年度	期首 6月～期末 5月					
年間稼働日数	255日					
就業形態	1シフト					
就業時間	8:00～17:00					
従業員数(全社)	275人					
創業	1960年4月					
環境管理責任者	品証部 堀 剛輔 TEL:054-365-4290 FAX:050-3803-4565					
事業所名	高橋工場 (本社・管理部)	飯田事業所	下野工場	松野工場	内田事業所	九州佐賀工場
事業所所在地	〒424-0043 静岡県清水区 永楽町11-89	〒424-0041 静岡県清水区 高橋3-7-43	〒424-0041 静岡県清水区 高橋3-7-50	〒421-3303 静岡県富士市 南松野296-1	〒424-0008 静岡県清水区 押切1108-8	〒849-0903 佐賀県佐賀市 久保泉町大字下 和泉1859-10
設立	1979年3月	1995年3月	1986年12月	2007年5月	1991年7月	2017年8月
TEL	054-371-1037	054-365-3637	054-365-3636	0545-85-1077	054-347-7977	0952-47-2113
FAX	054-371-1038	054-365-4291	054-365-4297	0545-85-1088	054-347-7979	0952-47-2160
従業員数(工場)	47	63	60	59	6	40
敷地面積	1087㎡	796㎡	998㎡	2273㎡	855㎡	3425㎡
建物面積	1395㎡	1378㎡	1390㎡	1352㎡	614㎡	1988㎡
工場長	山本 昌弘	魚取 勝英	溝口 浩幸	(兼)魚取 勝英	(兼)魚取 勝英	古賀 健一郎
副環境管理責任者	竹下 慎一	山田 茂芳	望月 宏樹	早出 克郎	長澤 亮	石橋 正二郎

(2) 製品の概要

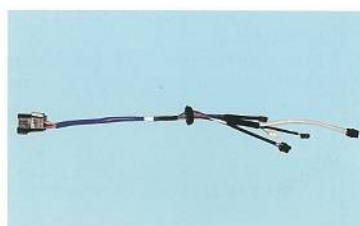
ハーネス等の電装品

家電用(冷蔵庫・エアコン等)及び自動車のランプ関係を中心とした、ハーネス品・樹脂成形品

自動車用ハーネス



リアコンピランプ用ハーネス



ヘッドライト用ハーネス

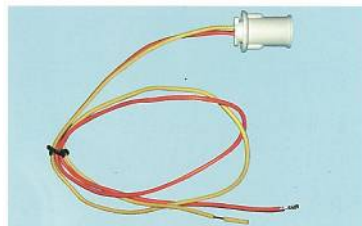


ホットメルトモールドスイッチハーネス

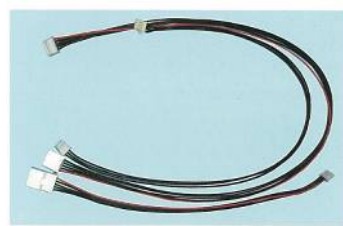
家電用ハーネス



冷蔵庫用ハーネス

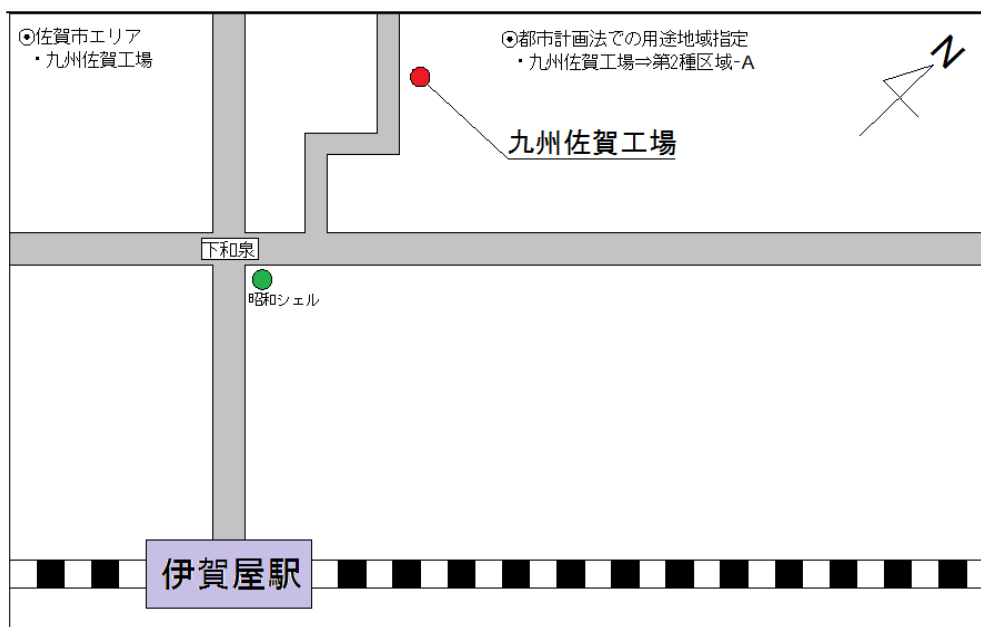
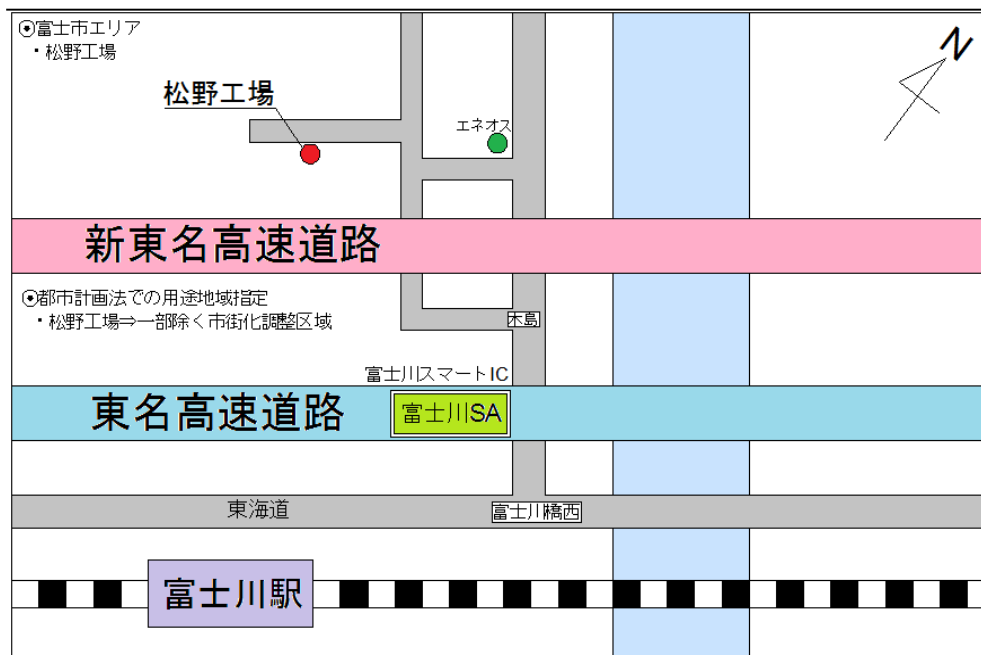


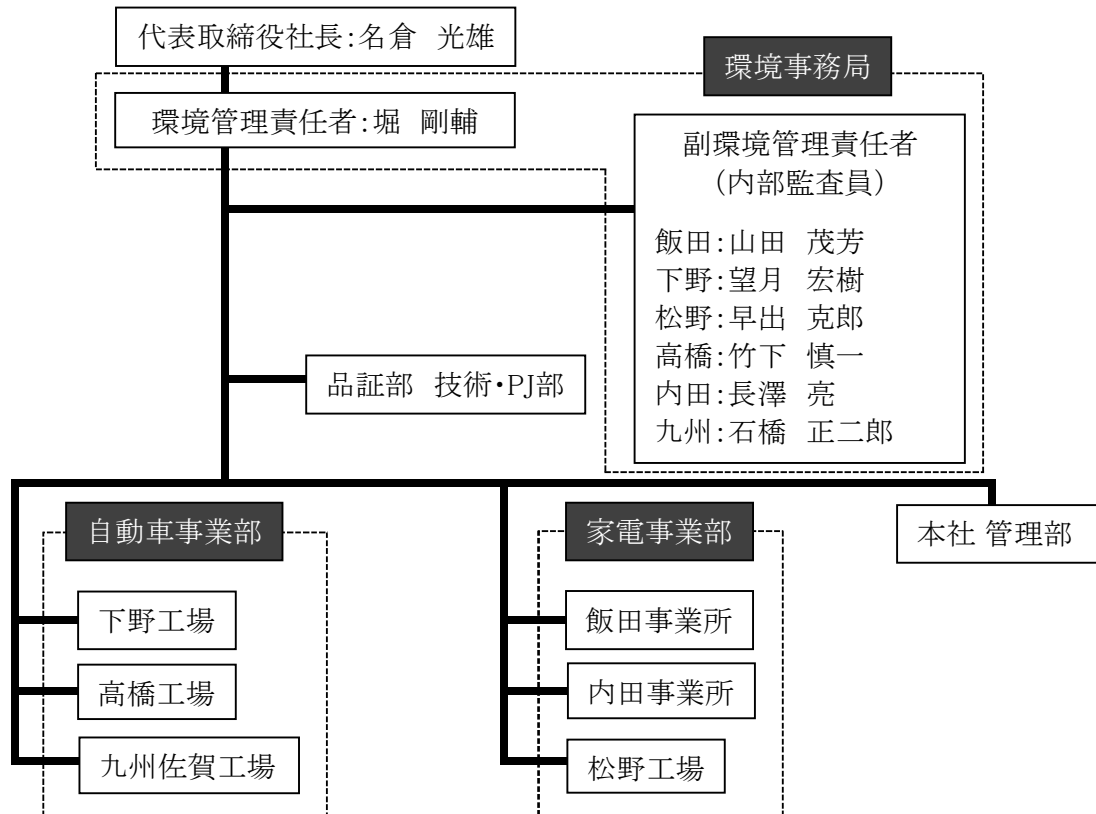
冷蔵庫用ランプソケット



エアコン用ハーネス

(3) 敷地概要





[役割分担]

①社長

- 環境経営システムの構築、及び全体の評価と見直し・指示
- 環境管理責任者、副環境管理責任者の任命
- 環境経営方針・環境経営目標の決定、及び見直し
- 環境経営計画の承認
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- 緊急事態発生時の統括
- 実施体制の構築

②環境管理責任者

- 環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の立案
- 環境経営計画の推進状況把握と社長への報告
- 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の把握と管理
- 環境経営システムに関する規定類の整備
- 運用管理、監視・測定、記録管理の統括
- 社長へ環境経営システム見直しに必要な情報を提供

③工場長

- 緊急事態発生時の対応と報告
- 問題等発生した際に、是正及び予防措置の対応指導
- 環境経営計画の推進と必要とする資源の準備

④副環境管理責任者 兼 内部監査員 (各工場から1名選任)

- 環境教育・訓練の実施と記録
- 環境経営目標、環境経営計画の立案
- 環境経営方針と環境経営計画に沿い、環境経営活動の啓蒙活動
- 運用管理、環境管理責任者へ環境に関する情報の提供
- 環境経営計画の推進状況把握と工場長への報告
- 内部監査の定期的な実施と結果の評価と是正の展開

⑤従業員

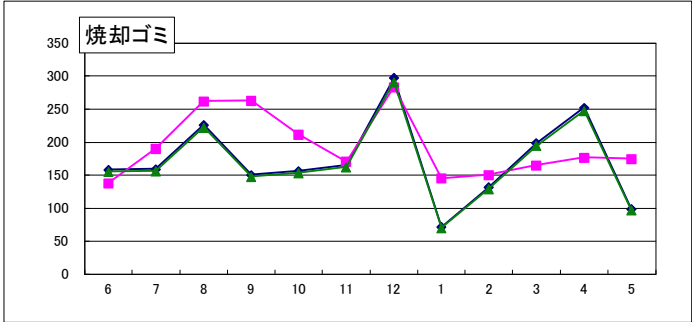
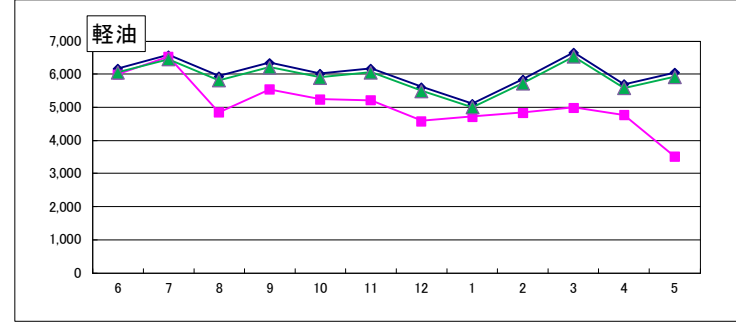
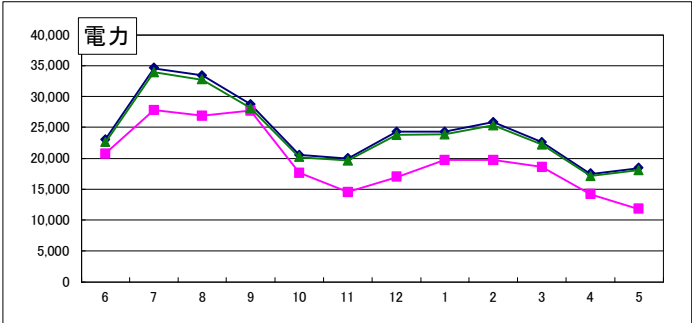
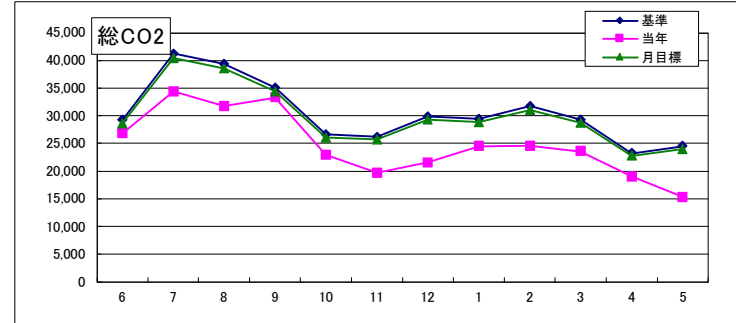
- 環境経営方針と環境経営計画に沿い、環境経営活動の実施

3. 環境経営目標と実績(全社ベース)

【目標】2017年度(6月～5月)を基準とし、各項目に対して削減目標を設定

※1. CO2排出係数の設定 ①電力 0.443kg-CO2/KWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/ℓ ③軽油 2.580kg-CO2/ℓ ④灯油 2.490kg-CO2/ℓ ⑤LPG 3.000kg-CO2/kg
①は電気事業者排出係数-平成27年度実績-より購入4社の係数に対し各使用率を乗算し加算した合計値を共通数値とし設定
②③④⑤は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1及び別表第5」より選定
※2. 総CO2排出は電力+軽油+LPGとし、ガソリンと灯油を除く【理由】ガソリン：製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多い 灯油：消費が少なくエアコンへ切替える
※3. LPGのCO2排出量は、全体の0.1%未満のため月毎の目標と実績の記載せず、総CO2排出量への加算のみとする
※4. 電力/ガソリン/軽油/灯油/LPGの総CO2排出量(kg-CO2)は、340,930.83となります

項 目	基準年	年度別削減目標 ※1				単位	2019年度 月別実績															
	2017	2018	2019	2020	月		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	年 計			
総CO2排出量削減 ※2 (電力+軽油+LPガス)	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	29,246	41,254	39,370	35,074	26,646	26,196	29,892	29,473	31,703	29,351	23,262	24,512	365,980			
	365,980	362,320	358,660	355,001	↑	当年	26,825	34,409	31,771	33,296	22,918	19,745	21,610	24,509	24,597	23,581	18,987	15,362	297,610			
					↓	月目標	28,662	40,429	38,582	34,373	26,113	25,672	29,294	28,883	31,069	28,764	22,797	24,022				
電力のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数 0.443	基準	1%	2%	3%	kWh	基準	52,058	78,232	75,453	64,833	46,540	45,161	54,770	54,964	58,336	51,180	39,611	41,642	662,780			
	662,780	656,152	649,524	642,897	↑	当年	46,949	62,899	60,737	62,618	39,846	32,767	38,371	44,652	44,562	41,905	32,039	26,702	534,047			
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	23,062	34,657	33,426	28,721	20,617	20,006	24,263	24,349	25,843	22,673	17,548	18,447	293,612			
	293,612	290,675	287,739	284,803	↑	当年	20,798	27,864	26,906	27,740	17,652	14,516	16,998	19,781	19,741	18,564	14,193	11,829	236,583			
					↓	月目標	22,600	33,964	32,757	28,147	20,205	19,606	23,778	23,862	25,326	22,219	17,197	18,078				
軽油のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数 2.580	基準	1%	2%	3%	ℓ	基準	2,393	2,553	2,300	2,458	2,333	2,394	2,177	1,981	2,265	2,583	2,209	2,344	27,990			
	27,990	27,710	27,430	27,150	↑	当年	2,329	2,533	1,880	2,149	2,036	2,022	1,779	1,830	1,874	1,939	1,850	1,365	23,587			
					↓	月目標	2,369	2,527	2,277	2,433	2,310	2,370	2,155	1,961	2,242	2,557	2,187	2,321				
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	6,174	6,587	5,934	6,342	6,019	6,177	5,617	5,111	5,844	6,664	5,699	6,048	72,214			
	72,214	71,492	70,770	70,048	↑	当年	6,008	6,536	4,851	5,545	5,252	5,218	4,590	4,721	4,836	5,002	4,772	3,523	60,854			
				↓	月目標	6,050	6,455	5,815	6,215	5,899	6,053	5,504	5,009	5,727	6,531	5,585	5,927					
廃棄物排出量の削減 (焼却ゴミ)	基準	1%	2%	3%	kg	基準	159	160	227	151	157	166	298	72	132	199	253	99	2073			
	2073	2052.3	2031.5	2010.8	↑	当年	139	191	263	263	212	171	284	146	151	166	177	175	2336			
					↓	月目標	155.8	156.8	222.5	148.0	153.9	162.7	292.0	70.6	129.4	195.0	247.9	97.0				
水使用量の削減 (上水道投入量)	生活用品での使用の為、目標値については定めず、前年度と当年度の比較のみとする					m ³	前年	25	607	30	622	26	479	4	366	2	394	0	361	2,916		
						↑	当年	0	385	0	398	0	395	0	382	0	397	0	346	2,303		
環境に配慮した 製品作り	環境負荷物質 遅延なき対応							環境負荷物質の対応 順次対応済														

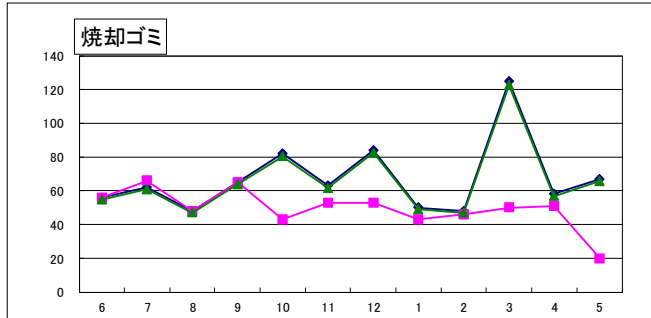
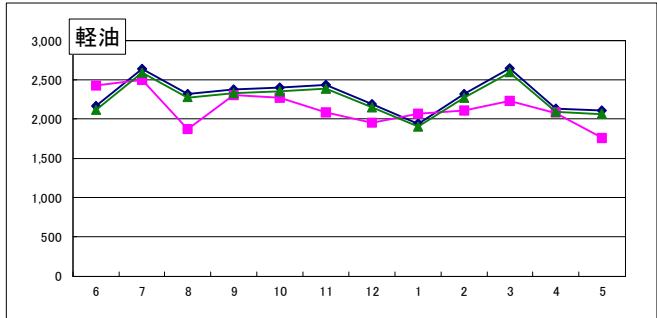
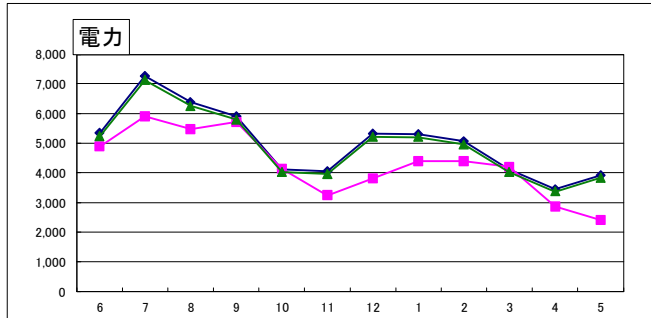
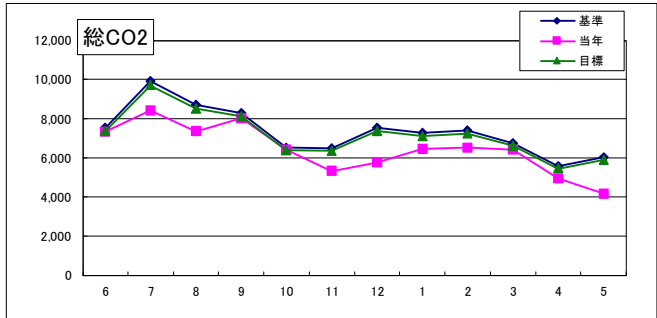


	目標達成率				実績確認(サイン)	目標達成状況 (どちらかに○)	評価(問題点)	是正措置及び予防措置
	総CO2	電力	軽油	焼却ゴミ				
6～8月	115.8%	118.2%	105.3%	90.3%	2019.09.26	達成 ○ 未達成	3項目共に目標達成(良好) 集計しくみ改善で電力・軽油は精度向上 及び可視化による意識改善が望める 焼却ゴミは集計精度の改善が必要	焼却ゴミの集計フォームを見直す また集計精度向上のため、各工場への集 計方法の再教育を呼びかける
					堀			
9～11月	113.4%	113.4%	113.4%	71.9%	2019.12.25	達成 ○ 未達成	焼却ゴミが未達成 集計精度向上の呼び かけによる影響と推測 電力は目標達成 だが高橋の塗装撤退の影響が大きい、冬 季に向け節電意識向上の必要がある	集計精度向上の呼びかけは継続し本来の 実績が数値化できるよう活動を継続する 冬季に向け暖房エアコン節電を呼びかける
					堀			
12～2月	126.2%	129.1%	114.8%	84.8%	2020.03.31	達成 ○ 未達成	焼却ゴミが未達成 集計精度が向上してい る面もあるが、年末の大掃除の影響が12 月が多い 電気、軽油は各工場の活動の 効果にて全ての月で達成し良好	焼却ゴミの計量を継続 節電や裏紙利用に加え、紙はリサイクルでき ることを呼びかけ焼却ゴミを低減させたい
					永野			
3～5月	130.5%	129.0%	135.7%	104.3%	2020.07.09	達成 ○ 未達成	総CO2目標達成 コロナウイルスの影響で工場稼働日が減って いたため、電気・軽油共に低い推移となっ た	季節が変わり夏になるため空調設備を適切 に使うよう呼びかけをし、各工場の節電意識 を高める
					永野			
年 間	120.5%	121.6%	116.3%	87.0%	2020.07.09	達成 ○ 未達成	総CO2は全ての月で目標達成 塗装ブース撤去(高橋)や稼働減の影響も あるが電気・給油の契約変更及び体制整 備の効果が出た	焼却ゴミの計量は習慣化されてきている 継 続し本来の実績を数値化する 使用頻度の低いLPGは解約を検討 電気 ボット等に切り替える
					永野			

3. 環境経営目標とその実績(飯田事業所)

※1. CO2排出係数の設定 ①電力 0.443kg-CO2/KWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/ℓ ③軽油 2.580kg-CO2/ℓ ④灯油 2.490kg-CO2/ℓ ⑤LPG 3.000kg-CO2/kg
 ①は電気事業者排出係数-平成27年度実績-より購入4社の係数に対し各使用率を乗算し加算した合計値を共通数値とし設定
 ②③④⑤は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1及び別表第5」より選定
 ※2. 総CO2排出は電力+軽油+LPGとし、ガソリンと灯油を除く【理由】ガソリン：製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多い 灯油：消費が少なくエアコンへ切替える
 ※3. LPGのCO2排出量は、全体の0.1%未満のため月毎の目標と実績の記載せず、総CO2排出量への加算のみとする

項 目	基準年	年度別削減目標 ※1				単 位	2019年度 月別実績														
	2017	2018	2019	2020	月		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	年 計		
総CO2排出量削減 ※2 (電力+軽油+LPG)	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	7,516	9,914	8,696	8,294	6,515	6,488	7,521	7,255	7,386	6,757	5,577	6,025	87,945		
	87,945	87,065	86,186	85,307	↑	当年	7,328	8,421	7,349	8,020	6,411	5,323	5,770	6,462	6,519	6,431	4,949	4,168	77,154		
					↓	月目標	7,365	9,716	8,522	8,128	6,385	6,358	7,371	7,110	7,239	6,622	5,465	5,904			
電力のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数＝ 0.443	基準	1%	2%	3%	kWh	基準	12,085	16,421	14,389	13,353	9,279	9,153	12,034	11,992	11,437	9,277	7,778	8,848	136,046		
	136,046	134,686	133,325	130,604	↑	当年	11,065	13,358	12,367	12,911	9,340	7,318	8,609	9,923	9,947	9,472	6,475	5,443	116,228		
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	5,354	7,275	6,374	5,915	4,111	4,055	5,331	5,312	5,067	4,110	3,446	3,920	60,268		
	60,268	59,666	59,063	58,460	↑	当年	4,902	5,918	5,479	5,720	4,138	3,242	3,814	4,396	4,407	4,196	2,868	2,411	51,489		
					↓	月目標	5,247	7,129	6,247	5,797	4,028	3,974	5,224	5,206	4,965	4,028	3,377	3,841			
軽油のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数＝ 2.580	基準	1%	2%	3%	ℓ+kg(B)	基準	838	1,023	900	922	932	943	849	753	899	1,026	826	816	10,727		
	10,727	10,620	10,512	10,405	↑	当年	941	970	725	892	881	807	758	801	819	866	806	681	9,946		
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	2,162	2,639	2,322	2,379	2,405	2,433	2,190	1,943	2,319	2,647	2,131	2,105	27,676		
	27,676	27,399	27,122	26,845	↑	当年	2,427	2,504	1,871	2,301	2,274	2,081	1,956	2,066	2,112	2,234	2,080	1,757	25,660		
					↓	月目標	2,119	2,587	2,276	2,331	2,356	2,384	2,147	1,904	2,273	2,594	2,088	2,063			
廃棄物排出量の削減 (焼却ゴミ)	基準	1%	2%	3%	kg	基準	56	62	48	65	82	63	84	50	48	125	58	67	808		
	808	800	792	784	↑	当年	56	66	48	65	43	53	53	43	46	50	51	20	594		
					↓	月目標	54.9	60.8	47.0	63.7	80.4	61.7	82.3	49.0	47.0	122.5	56.8	65.7			
水使用量の削減 (上水道投入量)	生活用品での使用の為、目標値 については定めず、前年度と当年度 の比較のみとする					m ³	前年		162		217		174		96		112		99	860	
						↑	当年		102		103		98		110		97		59	569	
環境に配慮した 製品作り	環境負荷物質						前年	環境負荷物質の対応													
	遅延なき対応						当年	順次対応済													

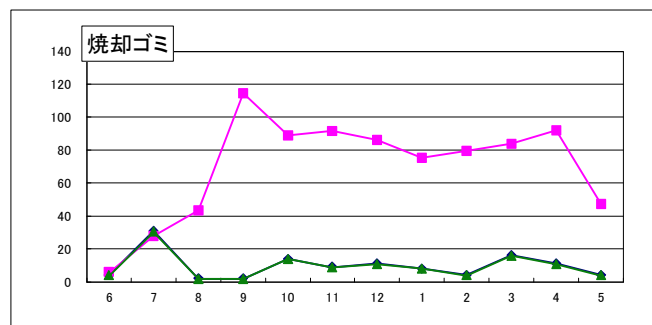
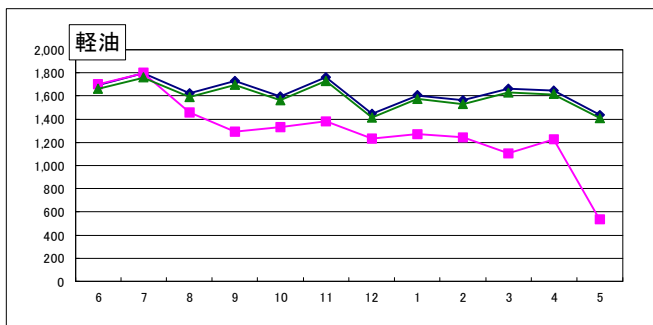
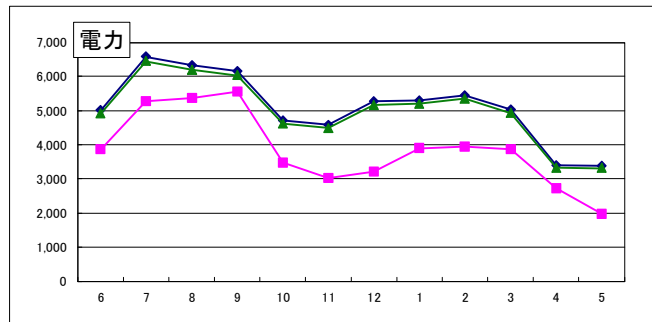
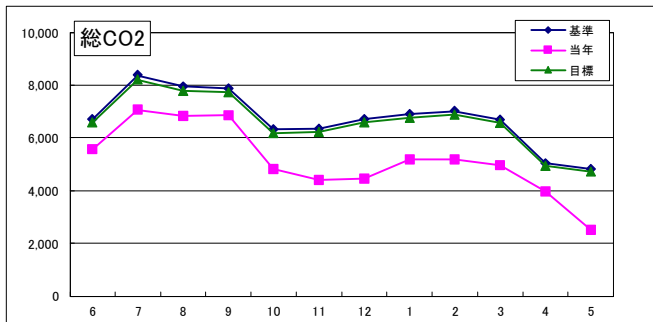


	目標達成率				実績確認(サイン)	目標達成状況 (どちらかに○)	評価(問題点)	是正措置及び予防措置
	総CO2	電力	軽油	焼却ゴミ				
6～8月	110.8%	114.3%	102.6%	95.7%	2019.09.27	達成・未達成	総CO2で目標達成 日常の呼びかけの効果が 出たと判断 今後も日常の呼びかけを 継続していく	軽油が目標に対しギリギリ で達成のため 臨時の集配を低減できる よう、適切な在庫管理に 努める 裏紙の再利用に努める
					山田			
9～11月	105.7%	105.3%	106.3%	127.8%	2020.01.13	達成・未達成	全項目で目標達成 例年より生産数が高かつ たが、すべての項目で 達成することができた	今後も日常の呼びかけを 継続し 臨時集配の低減や休憩時 間の消灯、裏紙の再利用 に努める
					山田			
12～2月	115.8%	122.0%	103.1%	125.6%	2020.04.08	達成・未達成	全項目で目標達成 照明をLEDへ随時変更し ている 日常の呼びかけを継続し 更なる改善を検討してい く	今後も日常の呼びかけを 継続 裏紙の再利用や臨時集配 の低減に努める 事務所内の配線方法によ り無駄な電力消費の低減 を検討
					山田			
3～5月	115.7%	118.7%	111.1%	202.5%	2020.07.20	達成・未達成	全項目で目標達成 継続しLEDへの切り替え 実施 生産減の影響もありすべ ての項目が低減となった	GPS付きドライブレコーダ ーの取付MAPでの集配ル ートを確認出来るように なったので適宜集配ルート の確認と見直しを実施し ていく
					山田			
年 間	111.7%	114.7%	105.7%	133.3%	2020.07.20	達成・未達成	全項目で目標達成 今後も継続して日常の呼 びかけを実施し 更なる改善を検討してい く	6月末よりホットメルト 設備の移設予定あり 消費電力増加の見込み、 対策要検討 すべての照明のLED化を 進めていく
					山田			

3. 環境経営目標とその実績(下野工場)

※1. CO2排出係数の設定 ①電力 0.443kg-CO2/KWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l ④灯油 2.490kg-CO2/l ⑤LPG 3.000kg-CO2/kg
 ※2. CO2排出量は電力+軽油+LPGとし、ガソリンと灯油を除く【理由】ガソリン：製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多い 灯油：消費が少なくエアコンへ切替える
 ※3. LPGのCO2排出量は、全体の0.1%未満のため毎月の目標と実績の記載せず、総CO2排出量への加算のみとする

項 目	基準年	年度別削減目標 ※1				単 位	2019年度 月別実績																
	2017	2018	2019	2020	月		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	年 計				
総CO2排出量削減 ※2 (電力+軽油+LPG)	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	6,718	8,384	7,945	7,889	6,313	6,343	6,723	6,909	7,017	6,697	5,046	4,823	80,808				
	80,808	80,000	79,192	78,384	↑	当年	5,576	7,070	6,830	6,856	4,813	4,411	4,456	5,171	5,191	4,970	3,956	2,514	61,815				
					↓	月目標	6,584	8,216	7,786	7,731	6,187	6,216	6,589	6,770	6,876	6,563	4,945	4,727					
電力のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数＝ 0.443	基準	1%	2%	3%	kWh	基準	11,334	14,868	14,268	13,903	10,648	10,329	11,910	11,967	12,306	11,354	7,664	7,640	138,191				
	138,191	136,809	135,427	134,045	↑	当年	8,739	11,893	12,124	12,555	7,856	6,840	7,270	8,798	8,902	8,722	6,153	4,466	104,318				
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	5,021	6,587	6,321	6,159	4,717	4,576	5,276	5,301	5,452	5,030	3,395	3,385	61,219				
	61,219	60,606	59,994	59,382	↑	当年	3,871	5,269	5,371	5,562	3,480	3,030	3,221	3,898	3,944	3,864	2,726	1,978	46,213				
					↓	月目標	4,921	6,455	6,194	6,036	4,623	4,484	5,171	5,195	5,343	4,929	3,327	3,317					
軽油のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数＝ 2.580	基準	1%	2%	3%	トナリ(B)	基準	657	696	629	670	618	684	560	622	605	645	639	557	7,582				
	7,582	7,506	7,430	7,355	↑	当年	660	698	565	501	516	535	478	493	483	428	476	207	6,039				
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	1,695	1,796	1,623	1,729	1,594	1,765	1,445	1,605	1,561	1,664	1,649	1,437	19,562				
	19,562	19,366	19,170	18,975	↑	当年	1,703	1,800	1,458	1,292	1,331	1,380	1,233	1,272	1,245	1,105	1,228	534	15,582				
					↓	月目標	1,661	1,760	1,590	1,694	1,563	1,729	1,416	1,573	1,530	1,631	1,616	1,408					
廃棄物排出量の削減 (焼却ゴミ)	基準	1%	2%	3%	kg	基準	4	31	2	2	14	9	11	8	4	16	11	4	116				
	116	115	114	113	↑	当年	6	28	43	115	89	91	86	75	80	84	92	47	837				
					↓	月目標	3.9	30.4	2.0	2.0	13.7	8.8	10.8	7.8	3.9	15.7	10.8	3.9					
水使用量の削減 (上水道投入量)	生活用品での使用の為、目標値 については定めず、前年度と当年度 の比較のみとする					m ³	前年													69	425		
						↑	当年													75	473		
環境に配慮した 製品作り	環境負荷物質						基準	環境負荷物質の対応															
	遅延なき対応						当年	順次対応済															



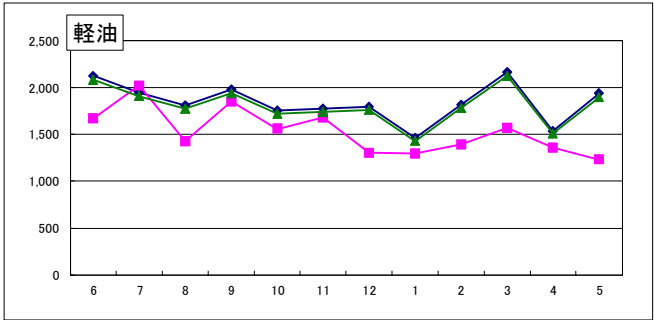
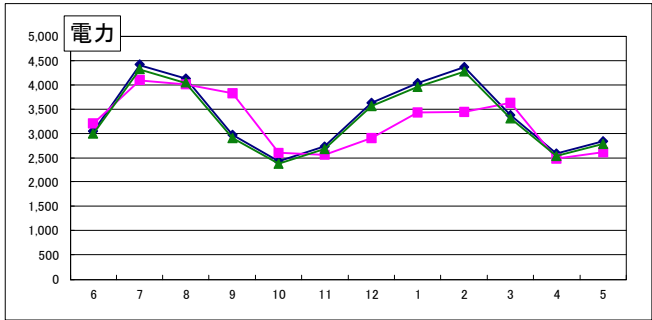
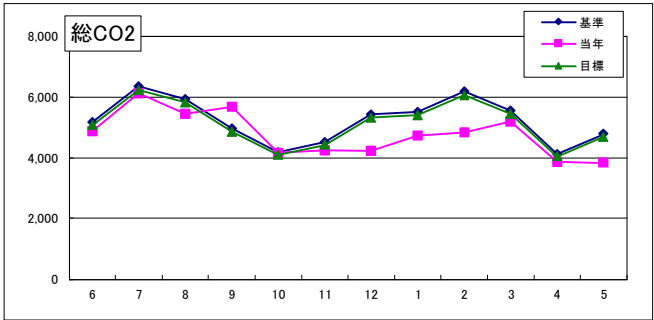
	目標達成率				実績確認(サイン)	目標達成状況 (どちらかに○)	評価(問題点)	是正措置及び予防措置
	総CO2	電力	軽油	焼却ゴミ				
6～8月	116.0%	121.1%	101.0%	46.8%	2019.09.27	達成・未達成	総CO2量、電力共に達成 軽油に関しては、6月～7月に多かった 焼却ゴミについては、計量する習慣が前 年度より定着し、増加した様に見える	焼却ゴミの軽量習慣定着により、ゴミの排 出量のBMを明確し、次年度の目標を明 らかにしていく。軽油については、各ド ライバーへ意識向上に努める
					望月ひ			
9～11月	125.2%	125.4%	124.5%	8.3%	2019.12.25	達成・未達成	混ざるとゴミ・分別すれば資源。清水区と いう地域性なのか、分別の文化がなく、 朝礼でアナウンスしているが、焼却ゴミの 低減が中々でない。	定期的な焼却ゴミの分別化を推進。軽油 使用量低減活動として、行先掲示板を設 置、行き場所と戻り時間が明確化し、無駄 な走行距離を減らす。(ミニ改善有)
					望月ひ			
12～2月	136.6%	142.0%	120.5%	9.4%	2020.03.23	達成・未達成	暖房の使用も増えてはいるが、目標範囲 内で収められている。ドライバー・行先掲示 板の成果が出たのか、2月の軽油使用料 の増が無かった。	3月より社有車運行記録を実施。日々 の走行距離と日常メンテを各ドライバーにて管 理してもらう。ゴミの分別相違について、 発生の都度、朝礼にて注意喚起を実施。
					望月ひ			
3～5月	141.9%	135.1%	162.4%	13.6%	2020.07.02	達成・未達成	コロナ禍対応により、非稼働日を設定。 その為、内職便の減少し軽油使用量減 他、電力量・ゴミの排出量が減った。	コロナ終息後も、引き続きムダな稼働を無 くしていくと共に、個人ゴミの持ち帰りのア ナウンスを朝礼等でしていく。
					望月ひ			
年 間	128.1%	129.8%	123.0%	13.6%	2020.07.02	達成・未達成	ドライバー1名が臨時便となり、軽油トラックを 1台廃車し、ガソリン車へ変更。便を統合し 全体を調整。コロナ禍による内職配車の 運行縮小があった。	軽油トラックを1台廃車し、ガソリン車1台増。 必然的に軽油使用量が減る結果となっ ている。ゴミの分別、個人ゴミの持ち帰りのア ナウンスは定期的に次年度も継続していく。
					望月ひ			

3. 環境経営目標とその実績(松野工場)

※1. CO2排出係数の設定 ①電力 0.443kg-CO2/KWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/ℓ ③軽油 2.580kg-CO2/ℓ ④灯油 2.490kg-CO2/ℓ ⑤LPG 3.000kg-CO2/kg
①は電気事業者排出係数-平成27年度実績-より購入4社の係数に対し各使用率を乗算し加算した合計値を共通数値とし設定
②③④⑤は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1及び別表第5」より選定
※2. 総CO2排出は電力+軽油+LPGとし、ガソリンと灯油を除く【理由】ガソリン:製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多い 灯油:消費が少なくエアコンへ切替える
※3. LPGのCO2排出量は、全体の0.1%未満のため月毎の目標と実績の記載せず、総CO2排出量への加算のみとする

【目標】2017年度(6月～5月)を基準とし、各項目に対して削減目標を設定

項 目	基準年	年度別削減目標 ※1				単 位	2019年度 月別実績														
	2017	2018	2019	2020	月		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	年 計		
総CO2排出量削減 ※2 (電力+軽油+LPガス)	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	5,178	6,358	5,935	4,949	4,184	4,512	5,429	5,504	6,184	5,549	4,125	4,780	62,688		
	62,688	62,061	61,434	60,807	↑	当年	4,880	6,120	5,434	5,681	4,158	4,239	4,212	4,719	4,832	5,192	3,853	3,840	57,161		
					↓	月目標	5,075	6,231	5,816	4,850	4,100	4,422	5,320	5,394	6,061	5,438	4,043	4,685			
電力のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数＝ 0.443	基準	1%	2%	3%	kWh	基準	6,883	9,956	9,308	6,693	5,478	6,172	8,188	9,121	9,853	7,627	5,834	6,404	91,517		
	91,517	90,602	89,687	88,771	↑	当年	7,227	9,250	9,045	8,644	5,858	5,766	6,564	7,732	7,757	8,174	5,612	5,888	87,517		
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	3,049	4,411	4,123	2,965	2,427	2,734	3,627	4,041	4,365	3,379	2,584	2,837	40,542		
	40,542	40,137	39,731	39,326	↑	当年	3,202	4,098	4,007	3,829	2,595	2,554	2,908	3,425	3,436	3,621	2,486	2,608	38,770		
					↓	月目標	2,988	4,322	4,041	2,906	2,378	2,680	3,555	3,960	4,278	3,311	2,533	2,780			
軽油のCO2 排出量削減 2017年度 排出係数＝ 2.580	基準	1%	2%	3%	ℓ	基準	824	755	701	768	681	688	697	566	704	840	596	752	8,572		
	8,572	8,486	8,401	8,315	↑	当年	649	784	552	718	605	652	505	502	539	608	528	477	7,117		
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	2,126	1,948	1,809	1,981	1,757	1,775	1,798	1,460	1,816	2,167	1,538	1,940	22,116		
	22,116	21,895	21,673	21,452	↑	当年	1,675	2,022	1,424	1,851	1,560	1,681	1,302	1,294	1,390	1,568	1,361	1,232	18,361		
					↓	月目標	2,083	1,909	1,772	1,942	1,722	1,740	1,762	1,431	1,780	2,124	1,507	1,901			
廃棄物排出量の削減 (焼却ゴミ)	基準	1%	2%	3%	kg	基準	65	36	42	29	29	24	42	14	33	25	33	20	392		
	392	388	384	380	↑	当年	17	57	47	24	33	17	27	20	14	21	17	13	306		
					↓	月目標	63.7	35.3	41.2	28.4	28.4	23.5	41.2	13.7	32.3	24.5	32.3	19.6			
水使用量の削減 (上水道投入量)	生活用品での使用の為、目標値 については定めず、前年度と当年度 の比較のみとする					m ³	前年		59		65		62		60		67		67	380	
						↑	当年		59		76		94		66		80		80	455	
環境に配慮した 製品作り	環境負荷物質						基準	環境負荷物質の対応													
	遅延なき対応						当年	順次対応済													



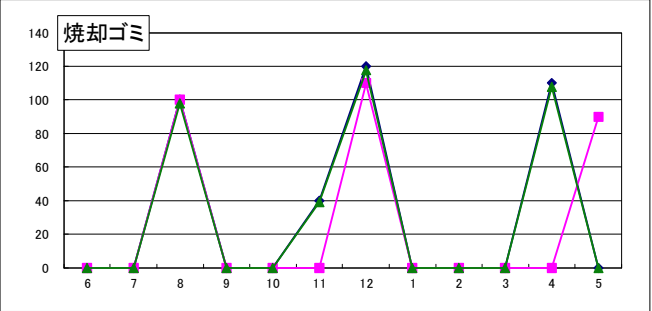
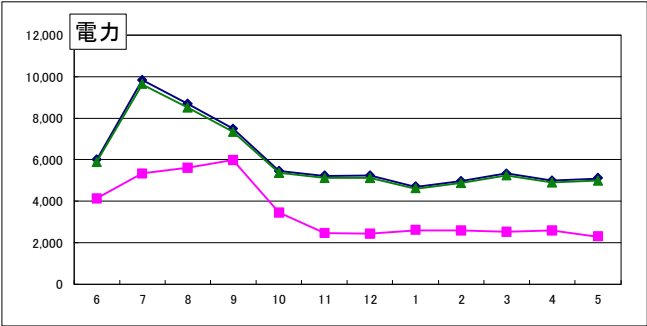
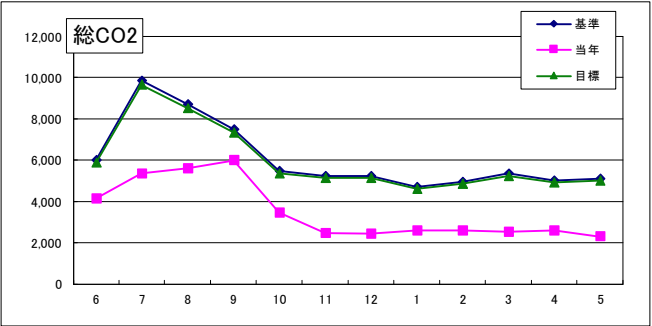
	目標達成率				実績確認(サイン)	目標達成状況 (どちらかに○)	評価(問題点)	是正措置及び予防措置
	総CO2	電力	軽油	焼却ゴミ				
6～8月	104.2%	100.4%	112.6%	116.8%	2019.09.27	達成・未達成	全ての項目で達成となった ただ去年の同時期より生産数が減っていることが大きな原因 (昨年6～8月と比較し切断本数68%)	今後とも各担当者に環境に配慮して作業を行う様に指導・誘導する
					早出			
9～11月	95.0%	88.7%	106.1%	108.4%	2020.01.17	達成・未達成	電力が前年度より使用量が多かった為 目標達成値を大きく下回った。前年9月 平均気温22.9℃に対し今年は25.1℃ だったことが大きな要因	暑さを我慢して効率が低下したら意味が無い。 来年は大型扇風機やサーキュレータの導入を 考慮する
					早出			
12～2月	121.9%	120.7%	124.8%	142.7%	2020.04.13	達成・未達成	全ての項目で達成となった 軽油の達成率が上がったのは古い2t トラックから0.8tトラックに変更した成果	暖かい日でも暖房を使用している場合がある のでこまめにカットしていきたい 自前の焼却ゴミを持ち帰るように指導する
					早出			
3～5月	109.9%	99.0%	133.0%	150.8%	2020.7.16	達成・未達成	全体的に目標達成となった。 しかし、電力は目標未達となってしまった。	無理のない範囲で、換気による温度調整 を心掛ける。不要な照明は消灯し節電対策 を小まめに行う。
					石川			
年 間	107.5%	102.5%	118.0%	125.6%	2020.7.16	達成・未達成	全ての項目で達成となった。総合的には 良いと思うが、電力において未達が多い。	日常の呼びかけを行い周囲の意識向上 に努めたい。 使用していない照明の消灯をまめに行い 電力消費の低減に努める。
					石川			

3. 環境経営目標とその実績(高橋工場)

【目標】2017年度(6月～5月)を基準とし、各項目に対して削減目標を設定

※1. CO2排出係数の設定 ①電力 0.443kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l ④灯油 2.490kg-CO2/l ⑤LPG 3.000kg-CO2/kg
①は電気事業者排出係数-平成27年度実績-より購入4社の係数に対し各使用率を乗算し加算した合計値を共通数値とし設定
②③④⑤は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1及び別表第5」より算定
※2. 総CO2排出は電力+軽油+LPGとし、ガソリンと灯油を除く【理由】ガソリン:製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多い 灯油:消費が少なくエアコンへ切替える
※3. LPGのCO2排出量は、全体の0.1%未満のため月毎の目標と実績の記載せず、総CO2排出量への加算のみとする

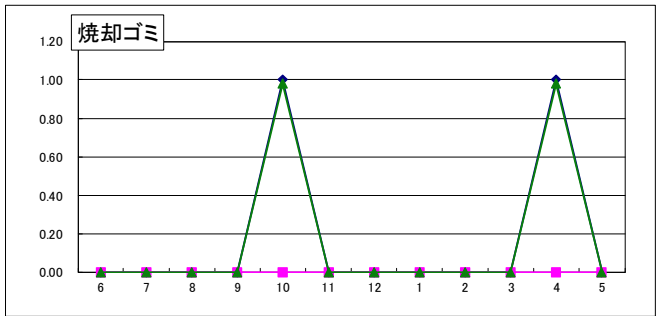
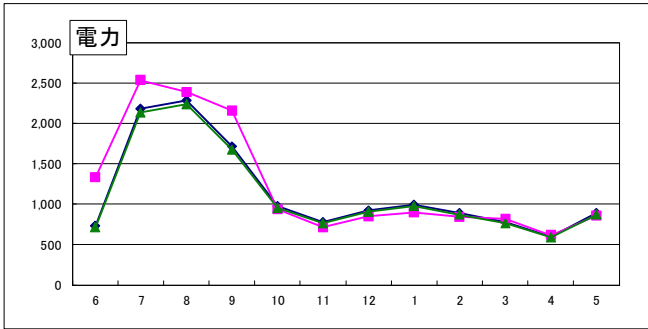
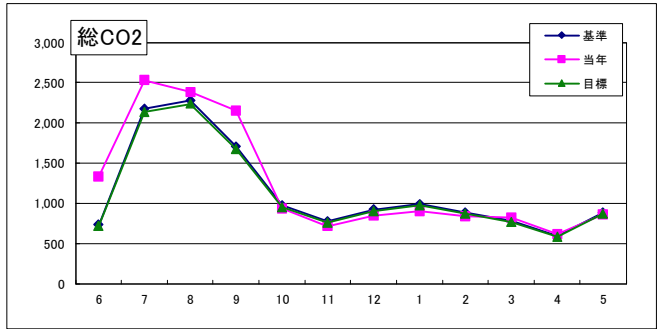
項 目	基準年	年度別削減目標 ※1				単位	2019年度 月別実績														
	2017	2018	2019	2020	月		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	年 計		
総CO2排出量削減 ※2 (電力+LPガス)	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	6,001	9,851	8,696	7,485	5,465	5,230	5,231	4,714	4,964	5,348	5,006	5,112	73,103		
	73,103	72,372	71,641	70,910	↑	当年	4,149	5,345	5,606	5,996	3,461	2,470	2,446	2,604	2,603	2,523	2,587	2,304	42,093		
					↓	月目標	5,881	9,654	8,522	7,335	5,356	5,126	5,127	4,619	4,865	5,241	4,906	5,009			
電力のCO2 排出量削減	基準	1%	2%	3%	kWh	基準	13,533	22,216	19,617	16,880	12,320	11,790	11,793	10,624	11,185	12,055	11,278	11,511	164,802		
	164,802	163,154	161,506	159,858	↑	当年	9,333	12,048	12,636	13,514	7,792	5,559	5,487	5,868	5,849	5,676	5,811	5,180	94,753		
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	5,995	9,842	8,690	7,478	5,458	5,223	5,224	4,706	4,955	5,340	4,996	5,099	73,007		
2017年度 排出係数＝ 0.443	73,007	72,277	71,547	70,817	↑	当年	4,135	5,337	5,598	5,987	3,452	2,463	2,431	2,600	2,591	2,514	2,574	2,295	41,976		
					↓	月目標	5,875	9,645	8,517	7,328	5,349	5,119	5,120	4,612	4,856	5,234	4,896	4,997			
軽油のCO2 排出量削減					トナリ(0)	基準															
					↑	当年															
					kg-CO2	基準	該当車両なし														
2017年度 排出係数＝ 2.580					↑	当年															
					↓	月目標															
廃棄物排出量の削減 (焼却ゴミ)	基準	1%	2%	3%	kg	基準	0	0	100	0	0	40	120	0	0	0	110	0	370		
	370	366	363	359	↑	当年	0	0	100	0	0	0	110	0	0	0	0	90	300		
					↓	月目標	0.0	0.0	98.0	0.0	0.0	39.2	117.6	0.0	0.0	0.0	107.8	0.0			
水使用量の削減 (上水道投入量)	生活用品での使用の為、目標値 については定めず、前年度と当年度 の比較のみとする					m³	前年		86		80		97		75		67		60	465	
						↑	当年		70		70		66		67		65		65	403	
環境に配慮した 製品作り	環境負荷物質						基準	環境負荷物質の対応													
	遅延なき対応						当年	順次対応済													



	目標達成率				実績確認(サイン)	目標達成状況 (どちらかに○)	評価(問題点)	是正措置及び予防措置
	総CO2	電力	軽油	焼却ゴミ				
6～8月	159.3%	159.5%		98.0%	2019.09.27	達成・未達成	昨年比で電力が大幅に削減できている (塗装ブース撤去の要因が大きい) 3Fのエアコンを省エネタイプに変更(1台) 焼却ゴミが増加している。	ゴミについては未達となっているため、 印刷等に使用する紙はできるだけ両面 印刷を実施し、紙類ゴミを減らしていく
					竹下			
9～11月	149.4%	149.5%		排出なし	2020.01.06	達成・未達成	総CO2と電力は目標達成。 工場稼働時間の減少と照明を少しずつ LEDに変更している。	引き続き紙類については両面印刷等で 再利用を実施していく。 商社等から送られてくる製品などをできるだけ 両面印刷にすることで廃棄物削減を図る
					竹下			
12～2月	190.9%	191.4%		106.9%	2020.04.07	達成・未達成	全項目で目標達成。 但し、今後エアコン設置をしていく中で例年 に比べ電力が増加すると予想	エアコン設置に伴い、今まで以上に節電に 取り組む。 (無人エリアの消灯・ライン改善等により作業 効率を上げ、稼働時間の短縮など)
					竹下			
3～5月	204.5%	204.9%		119.8%	2020.7.24	達成・未達成	全項目にて目標達成。 工場の稼働率が減少している影響あり。 終業後でもコンプレッサーや設備の電源が ついたままになっているケース有り。	終業後、残業等が無い場合には速やかに 照明・設備・エアコン等の電源を切り、無駄 なCO2・電力の消費を無くす。
					竹下			
年 間	170.2%	170.4%		122.1%	2020.07.24	達成・未達成	年間通じて目標達成。 日々節電やゴミ処理について周知してきた ことが結果に繋がったと評価。	生産ラインの見直しを検討していく中で、 現状よりも更にコンパクト化し余剰な電力を 抑えて節電に取り組んでいく。 エアコンは省エネタイプに交換済み。
					竹下			

3. 環境経営目標とその実績(内田事業所) ※1. CO2排出係数の設定 ①電力 0.443kg-CO2/KWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l ④灯油 2.490kg-CO2/l ⑤LPG 3.000kg-CO2/kg
※2. 総CO2排出は電力+軽油+LPGとし、ガソリンと灯油を除く 【理由】ガソリン:製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多い 灯油:消費が少なくエアコンへ切替える
※3. LPGのCO2排出量は、全体の0.1%未満のため月毎の目標と実績の記載せず、総CO2排出量への加算のみとする

項 目	基準年	年度別削減目標 ※1				単位	2019年度 月別実績																
	2017	2018	2019	2020	月		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	年 計				
総CO2排出量削減 (電力)	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	732	2,177	2,284	1,710	974	775	923	992	886	780	599	886	13,718				
	13,718	13,581	13,444	13,306	↑	当年	1,334	2,534	2,386	2,156	937	716	847	900	838	820	617	859	14,944				
					↓	月目標	717	2,134	2,238	1,676	954	760	904	972	868	764	587	869					
電力のCO2 排出量削減	基準	1%	2%	3%	kWh	基準	1,652	4,915	5,155	3,860	2,198	1,750	2,083	2,239	2,000	1,760	1,353	2,001	30,966				
	30,966	30,656	30,347	30,037	↑	当年	3,011	5,719	5,387	4,867	2,115	1,616	1,911	2,031	1,892	1,852	1,393	1,940	33,734				
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	732	2,177	2,284	1,710	974	775	923	992	886	780	599	886	13,718				
2017年度 排出係数＝ 0.443	13,718	13,581	13,444	13,306	↑	当年	1,334	2,534	2,386	2,156	937	716	847	900	838	820	617	859	14,944				
					↓	月目標	717	2,134	2,238	1,676	954	760	904	972	868	764	587	869					
軽油のCO2 排出量削減					リットル(l)	基準																	
					↑	当年																	
					kg-CO2	基準	該当車両なし																
2017年度 排出係数＝ 2.580					↑	当年																	
					↓	月目標																	
廃棄物排出量の削減 (焼却ゴミ)	基準	1%	2%	3%	kg	基準	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	2.00				
	2.00	1.98	1.96	1.94	↑	当年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
					↓	月目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	0.00					
水使用量の削減 (上水道投入量)	生活用品での使用の為、目標値 については定めず、前年度と当年度 の比較のみとする					m ³	前年		35		25		25		24		23		21	153			
						↑	当年		28		23		24		26		29		31	161			
環境に配慮した 製品作り	環境負荷物質						基準	環境負荷物質の対応															
	遅延なき対応						当年	順次対応済															

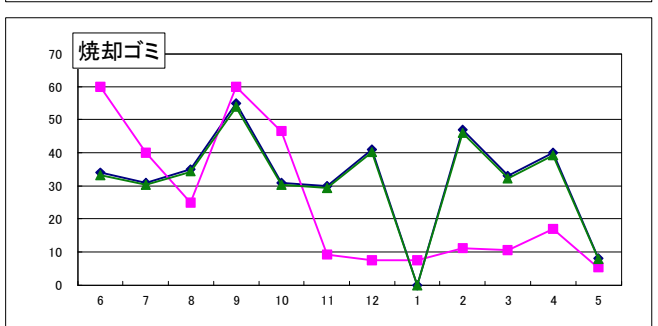
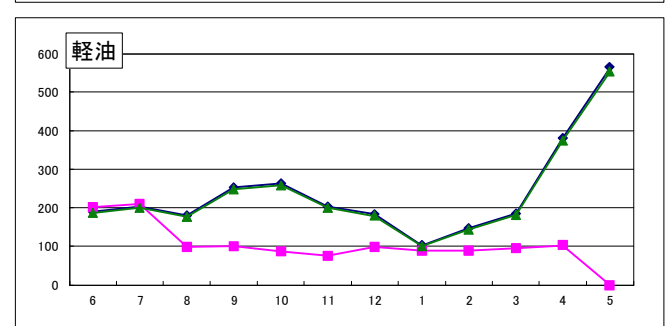
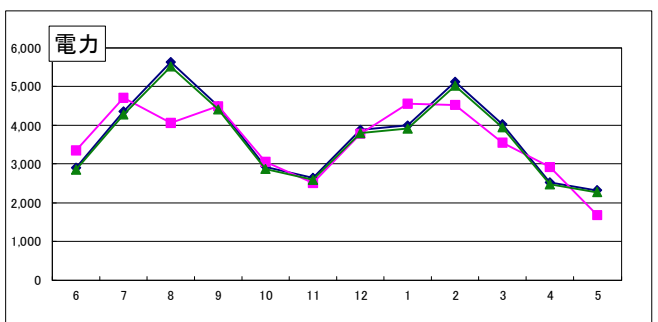
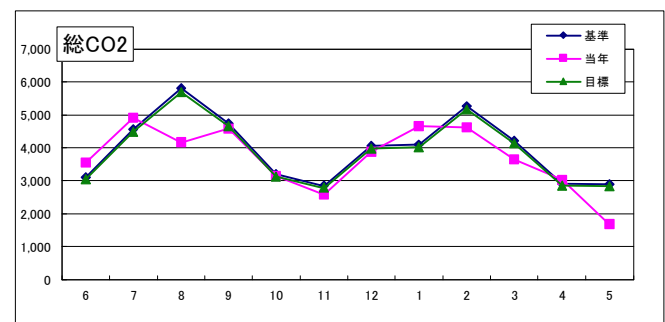


	目標達成率				実績確認(サイン)	目標達成状況 (どちらかに○)	評価(問題点)	是正措置及び予防措置
	総CO2	電力	軽油	焼却ゴミ				
6～8月	81.4%	81.4%		排出なし	2019.09.27	達成 ○未達成	目標未達。9月に関して30℃越えの真夏日が多く、エアコンの使用時間が増加したため、電力の消費量の増加が見られる	今後も継続的にエアコンの稼働時間・設定温度の調整、電気の消灯を行っていく
					長澤			
9～11月	89.0%	89.0%		排出なし	2019.12.26	達成 ○未達成	9月に関して30℃越えの真夏日が多く、エアコンの使用時間が大幅に増加したため、電力の消費量の増加が見られる	継続的にエアコンの稼働時間・設定温度の調整・電気の消灯を行い、作業終了後のコンプレッサの早めの停止等を行っていく
					長澤			
12～2月	106.2%	106.2%		排出なし	2020.04.07	達成 ○未達成	電力の消費量が減少。土曜日に機械メンテナンス等で工場を開けており工場の稼働時間が増加したものの、目標到達できた	今後も unnecessary 電気の消灯、作業終了後のコンプレッサの早めの停止を再度徹底していく
					長澤			
3～5月	96.7%	96.7%		排出なし	2020.07.14	達成 ○未達成	コロナ禍の影響で工場の稼働時間が大幅に減ったが電力の目標到達ができなかった。目標値の2017年度はチューブが移動した年となり環境が大きく変わったと推測	照明のLED化、エアコンの稼働時間・設定温度の調整を徹底していく。夏場になりエアコンの使用が増えるため3台の内1台を停止する等対応していく
					長澤			
年 間	90.0%	90.0%		排出なし	2020.07.14	達成 ○未達成	真夏日が多くエアコンの使用時間が増加している。また、目標値の2017年度にチューブ切断が異動となっているため環境の変化が大きく目標到達できなかった	照明のLED化、エアコンの稼働時間/台数・設定温度を調整していく。作業終了後のコンプレッサの停止も行っていく
					長澤			

3. 環境経営目標とその実績(九州佐賀工場)

※1. CO2排出係数の設定 ①電力 0.443kg-CO2/KWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l ④灯油 2.490kg-CO2/l ⑤LPG 3.000kg-CO2/kg
 ①は電気事業者排出係数-平成27年度実績-より購入4社の係数に対し各使用率を乗算し加算した合計値を共通数値とし設定
 ②③④⑤は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1及び別表第5」より選定
 ※2. 総CO2排出は電力+軽油+LPGとし、ガソリンと灯油を除く【理由】ガソリン：製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多い 灯油：消費が少なくエアコンへ切替える
 ※3. LPGのCO2排出量は、全体の0.1%未満のため月毎の目標と実績の記載せず、総CO2排出量への加算のみとする

項 目	基準年	年度別削減目標 ※1				単 位	2019年度 月別実績														
	2017	2018	2019	2020	月		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	年 計		
総CO2排出量削減 (電力+軽油)	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	3,102	4,570	5,814	4,747	3,194	2,847	4,065	4,100	5,266	4,220	2,909	2,885	47,719		
	47,719	47,241	46,764	46,287	↑	当年	3,558	4,920	4,165	4,587	3,138	2,587	3,878	4,652	4,614	3,644	3,025	1,677	44,443		
					↓	月目標	3,040	4,479	5,698	4,652	3,131	2,790	3,983	4,018	5,161	4,136	2,851	2,828			
電力のCO2 排出量削減	基準	1%	2%	3%	kWh	基準	6,571	9,856	12,716	10,144	6,617	5,967	8,762	9,021	11,555	9,107	5,704	5,238	101,258		
	101,258	100,245	99,233	98,220	↓	当年	7,574	10,631	9,178	10,127	6,885	5,668	8,530	10,300	10,215	8,009	6,595	3,785	97,497		
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	2,911	4,366	5,633	4,494	2,931	2,643	3,882	3,996	5,119	4,034	2,527	2,320	44,857		
2017年度 排出係数＝ 0.443	44,857	44,409	43,960	43,512	↑	当年	3,355	4,710	4,066	4,486	3,050	2,511	3,779	4,563	4,525	3,548	2,922	1,677	43,191		
					↓	月目標	2,853	4,279	5,521	4,404	2,873	2,591	3,804	3,916	5,016	3,954	2,476	2,274			
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	74	79	70	98	102	79	71	40	57	72	148	219	1,109		
軽油のCO2 排出量削減	1,109	1,098	1,087	1,076	↑	当年	78	82	38	39	34	29	38	35	34	37	40	0	485		
	基準	1%	2%	3%	kg-CO2	基準	191	204	181	253	263	204	183	103	147	186	382	565	2,861		
	2,861	2,833	2,804	2,775	↑	当年	202	211	99	101	87	76	99	89	89	96	103	0	1,252		
2017年度 排出係数＝ 2.580						月目標	187	200	177	248	258	200	180	101	144	182	374	554			
	基準	1%	2%	3%	kg	基準	34	31	35	55	31	30	41	0	47	33	40	8	385		
	385	381	377	373	↑	当年	60	40	25	60	47	9	8	7	11	11	17	5	300		
廃棄物排出量の削減 (焼却ゴミ)					↓	月目標	33.3	30.4	34.3	53.9	30.4	29.4	40.2	0.0	46.1	32.3	39.2	7.8			
	生活用品での使用の為、目標値 については定めず、前年度と当年度 の比較のみとする					m ³	前年	25	195	30	169	26	48	4	42	2	47	0	45	633	
						↑	当年		49		39		39		36		43		36	242	
環境に配慮した 製品作り	環境負荷物質						基準	環境負荷物質の対応													
	遅延なき対応						当年	順次対応済													



	目標達成率				実績確認(サイン)	目標達成状況 (どちらかに○)	評価(問題点)	是正措置及び予防措置
	総CO2	電力	軽油	焼却ゴミ				
6～8月	104.5%	104.3%	110.1%	78.4%	2019.09.27	達成・未達成	日頃から印刷用紙の再利用の呼びかけを行って はいるものの、焼却ゴミの排出量が未達となった 見積書や図面等、情報漏洩の為シュレッダー行きと しているものが多く、中々減らないのも現状である	引き続き、無駄な電気消灯・印刷用紙再利用の 呼びかけを行っていく 焼却ゴミ低減の為、「シュレッダー行き」「再利用行き」 の基準を設け、分別を明確にする事を検討する
					石橋			
9～11月	102.5%	98.2%	267.3%	98.2%	2020.01.13	達成・未達成	総CO2目標達成。 6～8月に引き続き焼却ゴミは未達。従業 員の意識を向上させる必要有り。	焼却ゴミ低減の為、ごみ箱へ「再利用要確 認」の表示を行う。また朝会等で積極的 に呼びかけを行い、意識改善に取り組 む。
					石橋			
12～2月	100.1%	99.0%	153.3%	331.7%	2020.03.23	達成・未達成	電力が目標未達となった。 冬場となり、暖房の使用頻度が上がったこと と、また、去年に比べ2Fでの作業時間増 による2Fのエアコン・電気使用増が原因。	無駄な電気消灯の呼びかけや「無駄な電 気の消灯」の表示を行い、各作業者の意 識向上を行う。
					石橋			
3～5月	117.6%	106.8%	557.3%	241.3%	2020.07.01	達成・未達成	全項目目標達成。 今後、夏に向けてエアコンの使用頻度が上 がる見込みの為、温度管理の徹底や不 要な場合の停止等呼びかけを行う。	電力の消費を更に抑える為、 不要な電気消灯の呼びかけ、 エアコンの温度管理/風力管理の徹底を行 う。
					石橋			
年 間	105.2%	101.8%	223.9%	125.9%	2020.07.01	達成・未達成	全項目目標達成。 年間通して焼却ゴミに関しては改善がみ られたが、電力は従業員の意識を変えて いく必要有り	来期も今期の活動内容は継続しつつ、 従業員の意識改善の為、 朝会での積極的な呼びかけ等を行って いく。
					石橋			

4. 主要な環境経営計画の内容

承認	作成
2019.06.10	2019.06.10
名倉	堀

※ ■は新規取組の活動

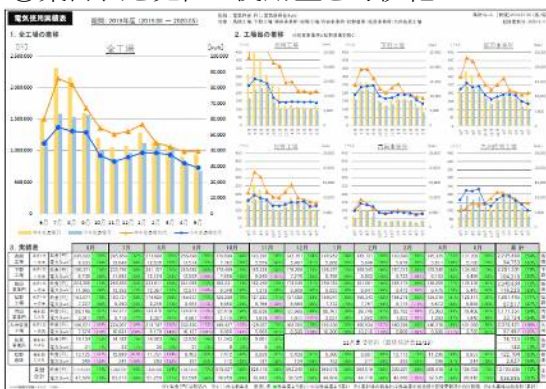
※ 計画 ■ 実行 ■

環境目標・環境経営計画の項目			具体的展開	推進責任者 推進担当者		2019年度 環境経営計画											
						6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
(1) 二酸化炭素排出量削減(kg-CO2) 電気使用量の削減																	
①	エアコンの適切な温度管理	夏25-27℃・冬21-22℃	副環境責任者	計画													
				実績													
②	エアコンフィルター清掃	2週間に1回を目安	各工場設備担当者	計画													
				実績													
③	エアコン運転時間の管理	9-16時	副環境責任者	計画													
				実績													
④	照明器具の間引き点灯徹底	巡回時等にチェック	副環境責任者	計画													
				実績													
⑤	休み時間消灯実施	昼・3時	全員	計画													
				実績													
⑥	休憩時コンプレッサー停止	昼	設備・切断部	計画													
				実績													
⑦	コンプレッサーのフィルター清掃	定期的な清掃実施	設備・切断部	計画													
				実績													
⑧	コンプレッサーの適切な圧力調整	定期的な確認	設備・切断部	計画													
				実績													
⑨	空調機器の買換検討	省エネタイプを優先に選定	社長・事務局 副環境責任者	計画													
				実績													
⑩	消費量の可視化	集計表の数値データをグラフ化	堀	計画													
				実績													
(2) 二酸化炭素排出量削減(軽油L) 軽油投入量の削減																	
①	運行ルートの見直し	運行ルートの把握&見直し	工場管理者	計画													
				実績													
②	日常点検整備	点検表に基づき点検	全員	計画													
				実績													
③	駐停車時のアイドリングストップの徹底	表示を作成し意識向上	全員	計画													
				実績													
④	カーエアコンの適切な温度管理	表示を作成し意識向上	全員	計画													
				実績													
⑤	エコドライブ意識付け	社用車燃費一覧表配布	事務局	計画													
				実績													
⑥	消費量の可視化	集計表の数値データをグラフ化	堀	計画													
				実績													
(3) 廃棄物排出量削減(kg) 焼却ゴミ削減																	
①	裏紙の再利用徹底	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	副環境責任者	計画													
				実績													
②	分別ハトールによる指導	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	副環境責任者	計画													
				実績													
③	個人ゴミの持ち帰り徹底	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	事務局 副環境責任者	計画													
				実績													
④	分別表示の見直し	分かり易い分別表示へ見直し	事務局 副環境責任者	計画													
				実績													
⑤	廃プラスチック類の分別徹底	分かり易い分別表示へ見直し	事務局 副環境責任者	計画													
				実績													
⑥	産業廃棄物一覧表の配布	集計表の数値データをグラフ化	事務局	計画													
				実績													
⑦	分別意識の向上	ゴミが地球に与える影響の教育	堀	計画													
				実績													
(4) 水使用量の削減(m³) 水道投入量の削減																	
①	蛇口のコマメな開閉	ポスター掲示/呼びかけ	事務局 副環境責任者	計画													
				実績													
②	節水の定期指導	全体ミーティング等で呼びかけ	副環境責任者	計画													
				実績													
③	トイレの節水対策	消音器の設置	副環境責任者	計画													
				実績													
④	節水意識の向上	リデュースを意識させる教育/掲示物	堀	計画													
				実績													
(5) 化学物質の適正量購入把握																	
①	適正購入量の把握	購入時に対応(現在、該当ナシ)		計画													
				実績													
				計画													
				実績													
(6) 環境に配慮した製品作り																	
①	環境負荷物質調査	負荷物質の調査	石塚S	計画													
				実績													
②	全員で環境を配慮	廃棄物の分別徹底	事務局 副環境責任者	計画													
				実績													
③	ECO検定	合格し体系的に環境を学ぶ	事務局 副環境責任者	計画													
				実績													
活動コメント	6～8月	2019.09.05 堀	電力と軽油(ガソリン)において集計表を見直しグラフにて可視化することで実態を伝えやすい体制を造ることができた 来年度へ向け涼しくなった9月以降のエアコン使用抑制策を具体的に														
	9～11月	2019.12.05 永野	電力・軽油(ガソリン)と同じく廃棄物の集計表を新たに作成 可視化による現状把握をし、具体的展開に繋げていきたい 全社ベースにおいてCO2排出削減目標達成														
	12～2月	2020.03.05永野	下野工場に新たに掲示板を設置 多くのの人に興味を持ってもらえるよう各種集計表だけでなく環境問題を紙芝居形式にして掲示(地球温暖化・プラスチックごみの影響等)														
	3～5月	2020.06.05永野	全社ベースにおいて年間総CO2排出削減目標を達成 コロナ禍による工場稼働減の影響もあるが、電気・軽油(ガソリン)の契約変更や体制整備が現れた														

5. 環境活動内容

(1) 電気使用量の削減

① 集計表を見直し使用量を可視化



(2) 軽油投入量の削減

① 集計表を見直し消費量を可視化



(3) 廃棄物排出量削減

① コミ分別の徹底



② 掲示板の設置(下野工場)



(4) 節水

① ポスターによる節水の啓発



(5) 環境に配慮した製品作り

① ミラーマットの再利用 ② 通い箱の使用



(6) 環境負荷の少ない製品の購入

① 社有車にハイブリット車を選定



(7) 防災訓練



6. 環境経営活動の取組結果の評価

評価(達成率100%以上⇒○, 100%未満90%以上⇒△, 90%未満⇒×) 作成日 2020年8月4日

※1 売上原単位評価は、基準年の売上金額を100%として本年度の売上金額の割合を算出し、売上原単位評価の達成率に反映させて評価を行う

総CO2排出量の削減(kg-CO2)							評価(問題点)	
工場	総量評価				売上原単位評価		全社:総量と売上原単位共に目標達成	
	目標	実績	達成率	評価	達成率	評価	電力と給油の契約見直し、使用量の可視化、管理体制の整備等が積極的に行われ	
飯田	86,186	77,154	112%	○	112.2%	○	環境活動がより活発化した年であった	
下野	79,192	61,815	128%	○	128.7%	○	是正処置及び予防処置	
松野	61,434	57,161	107%	○	107.9%	○		
高橋	71,641	42,093	170%	○	170.9%	○	整備した管理体制の維持(給油のきまり、使用量の集計、情報展開等)	
内田	13,444	14,944	90%	×	90.3%	△	工場毎に特化した活動の展開	
九州	46,764	44,443	105%	○	105.7%	○	代表者コメント	
全社	358,660	297,610	121%	○	121.0%	○		
							全社評価にて目標達成 今後は、グラフで可視化された情報の特徴を捉え、	作成
							データ分析のサイクルを回し望ましい影響を増大すること	永野
								検印

電力使用量の削減(kg-CO2)							評価(問題点)	
工場	総量評価				売上原単位評価		全社:総量と売上原単位共に目標達成 特に夏場の使用量が下がっており良好	
	目標	実績	達成率	評価	達成率	評価	内田は年間通し節電に注力していたが、目標年に機械(チェーブ切断)の設置があり	
飯田	59,063	51,489	115%	○	115.2%	○	環境の変化に追いつけなかった	
下野	59,994	46,213	130%	○	130.4%	○	是正処置及び予防処置	
松野	39,731	38,770	102%	○	102.9%	○		
高橋	71,547	41,976	170%	○	171.2%	○	エアコンの適切な使用と節電を呼び掛ける	
内田	13,444	14,944	90%	×	90.3%	△	引き続き照明のLED化を進める	
九州	43,960	43,191	102%	○	102.2%	○	代表者コメント	
全社	287,739	236,583	122%	○	122.1%	○		
							エアコンを省エネタイプに買い替えを継続	作成
							省エネの情報収集を効率よく行い、優先を決め、整理し、展開していくこと	永野
								検印

軽油投入量の削減(kg-CO2)							評価(問題点)	
工場	総量評価				売上原単位評価		全工場:総量と売上原単位共に目標達成	
	目標	実績	達成率	評価	達成率	評価	軽油のみでガソリンは集計対象外となっている 理由を「製品製造以外の用途(通勤・出張等)が多いため」としていたが、今年度より通勤での使用が禁止となった	
飯田	27,532	26,047	106%	○	106.2%	○	是正処置及び予防処置	
下野	19,460	15,817	123%	○	123.6%	○		
松野	22,001	18,638	118%	○	118.5%	○	ガソリンも集計対象とすることを検討	
高橋							配送ルートの見直しによる投入量の低減	
内田							代表者コメント	
九州	2,846	1,271	224%	○	224.9%	○		
全社	70,770	60,854	116%	○	116.8%	○	燃費実績より買換えを検討する車種を選定すること	
							軽油からガソリンへの転換が増えた、来期はガソリン消費量も対象とすること	作成
								永野
								検印

焼却ゴミ排出量の削減(t)							評価(問題点)	
工場	総量評価				売上原単位評価		下野のみ大きく目標未達	
	目標	実績	達成率	評価	達成率	評価	原因は、これまで計量がきちんと行われていなかったことに對し、今年度は徐々に	
飯田	791.8	594.0	133%	○	133.9%	○	集計精度が向上→習慣化したため	
下野	113.7	836.5	14%	×	13.6%	×	是正処置及び予防処置	
松野	384.2	305.9	126%	○	126.1%	○		
高橋	362.6	300.0	121%	○	121.4%	○	各工場共に、計量を継続	
内田	2.0	0.0	排出なし	○	排出なし	○	ゴミの分別、家庭ゴミ(弁当の容器等)の持ち帰り指導を行う	
九州	377.3	299.7	126%	○	126.4%	○	代表者コメント	
全社	2,031.5	2,336.1	87%	×	87.3%	×		
							リサイクル分別表の細分化を進め、適正処理及び再生利用の促進による	作成
							減量に努めること	永野
								検印

評価(前年比100%未満⇒○, 100%以上⇒×)

水道投入量の削減(m³)					評価(問題点)		作成
工場	総量評価				前年の数値が高いのは九州佐賀工場の工事に使用した分も含まれているため この分を除くと前年並み		永野
全社	前年実績	当年実績	前年比	評価	是正処置及び予防処置		
	2,916	2,303	79%	×	ポスターの設置や全体ミーティングでの呼びかけを継続し、節水意識を高める		検印
	売上原単位評価		前年比	評価	代表者コメント		
			79%	×	「水は無限ではない貴重な資源」の理解を深めた上で節水に対する教育を実施する		

製品への配慮			作成
評価(問題点)		是正処置及び予防処置	永野
①環境負荷物質の調査		①問題なく納期通り提出済み	
		代表者コメント	検印
		①製品配慮の内容を充実させること	
化学物質の適正量把握			
評価(問題点)		是正処置及び予防処置	
①塗装部門の購入量は、EDPにより適正		①生産の動向に合わせて最低源の購入量に調整	代表者コメント
		①法令順守で適正量の把握を継続すること	

7. 次年度の取組み内容

次年度の環境経営活動内容を示す

作成日 2020年 6月 10日

(1) 二酸化炭素排出量削減(kg-CO₂) 電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度(夏26～27℃・冬21～22℃)
- ② エアコンフィルターの清掃
- ③ エアコン各階1台停止の徹底
- ④ 扇風機適正配置
- ⑤ 休み時間消灯実施(昼・3時)
- ⑥ コンプレッサーの昼休み停止
- ⑦ コンプレッサーフィルター清掃
- ⑧ 蛍光灯型LEDの導入検討
- ⑨ 省エネ機器への買換検討(空調機器、コンプレッサー 等)

(2) 二酸化炭素排出量削減(軽油、ガソリン) 投入量の削減

- ① 集配ルートの見直し
- ② 臨時集配便の削減
- ③ 日常点検整備
- ④ 集配時のアイドリングストップ
- ⑤ 社用車の車両別の燃費管理(毎月)
- ⑥ カーエアコンの適切な温度設定と使用時間の管理
- ★ ⑦ ガソリン消費量の管理開始

(3) 二酸化炭素排出量削減(LPガス) LPガス使用量の削減

- ★ ① 設備の撤去(解約)

(4) 廃棄物排出量削減(焼却ゴミ削減)

- ① 裏紙の再利用徹底
- ② 分別パトロールによる個別指導
- ③ 個人ゴミの持ち帰り
- ④ 分別表示の見直し
- ⑤ ゴミが地球に与える悪影響を教育し、分別意識を高める

(5) 工場毎に特化した活動の展開、記録

- ★ ① 各工場に特化した活動を記録するフォームを作成し展開する
- ★ ② 環境掲示板の全面見直し

(6) 排水量削減(水道投入量の削減)

- ① 節水の定期指導
- ② 水の大切さを教育し、節水(水のリデュース)意識を高める

(7) 製品の環境配慮

- ① 環境負荷物質調査の対応
- ② 全社に向け状況の周知

(8) 環境に関する幅広い基本知識の習得

- ① 環境に関する幅広い知識を礎とし環境問題に積極的に取り組む”人づくり”

★・・・次年度新規取り組み内容

8. 環境関連法規等の取りまとめ

作成日:2019年6月1日

区分	法令等の名称	該当する 条項等	遵守事項又は規制基準	備考	該当:○ 非該当:ー					
					飯田	下野	松野	高橋	内田	九州
義務	○特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	第2条	水質汚濁特定施設 騒音発生施設・振動発生施設	浄化槽 機械プレス機、空気圧縮機	○	○	○	ー	○	ー
	○騒音規制法	第5条	規制基準遵守義務		○	○	○	○	○	○
		第6条	特定施設設置届出		○	○	○	○	○	○
		第8条	特定施設の変更届		○	○	○	○	○	○
	静岡県生活環境保全条例	第50条	規制基準値の遵守義務	第4種区域:高橋 以外:第2種区域	○	○	○	○	○	○
		第53条	特定施設設置届出	空気圧縮機15kw 台 送風機7.5kw 台	○	○	○	○	○	○
	○振動規制法	第5条	規制基準遵守義務		○	○	○	○	○	○
		第6条	特定施設(施行令別表第1)の届出		○	○	○	○	○	○
		第8条	特定施設の変更届		○	○	○	○	○	○
	静岡県生活環境保全条例	第79条	規制基準値の遵守義務	第2種区域:高橋 以外:第1種区域	○	○	○	○	○	○
		第80条	特定施設設置届出	空気圧縮機15kw 2台	○	○	○	○	○	○
	○浄化槽法	第5条	設置または変更時の届出	浄化槽	○	○	○	ー	○	ー
		第7条	水質検査	4回/年	○	○	○	ー	○	ー
		第8条	保守点検	同上	○	○	○	ー	○	ー
		第9条	清掃	1回/年	○	○	○	ー	○	ー
	○廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第11条	定期検査	同上	○	○	○	ー	○	ー
		第2条	国民の責務	排出抑制・分別徹底・再生利用	○	○	○	○	○	○
		第3条	事業者の責務(適正処理・排出の抑制)	排出抑制・分別徹底・再生利用	○	○	○	○	○	○
		第5条	清潔の保持(土地・建物の清潔維持)	廃棄物置き場	○	○	○	○	○	○
		第6条2	一般廃棄物運搬及び処理委託業者	収集運搬及び処理業者に委託	○	○	○	○	○	○
		第12条2項	廃棄物の適正保管	保管基準遵守、保管場所表示	○	○	○	○	○	○
		第12条5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬、処分許可業者への委託	○	○	○	○	○	○
		第12条6項	運搬又は処分委託時の処置基準遵守	処理業者、処分業者との契約締結	○	○	○	○	○	○
		第12条7項	運搬又は処分の適正化確認	最終処分場現地確認	○	○	○	○	○	○
		第12条3第1項	マニフェスト交付		○	○	ー	○	ー	ー
		第12条3第2項	マニフェスト保管	A票 5年間保管	○	○	ー	○	ー	ー
		第12条3第6項	マニフェスト保管	B2、D、E票 5年間保管	○	○	ー	○	ー	ー
		第12条3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6月30日迄に提出	○	○	ー	○	ー	ー
		第12条3第8項	マニフェスト写し送付の適切措置の実施	D、E票の期間内返却	○	○	ー	○	ー	ー
	○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB処理法)	第2条	事業者の責務(PCB廃棄物の適正処理)	現在、専門機関にて該当の有無を確認中						
		第8条	保管の届出							
		第10条	期限内の処理							
		第17条	譲渡し及び譲受時の制限							
	○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)	第4条	事業者及び消費者責務(分別排出・再商品化推進)		○	○	○	○	○	○
	○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	事業者及び消費者責務(特定家庭用機器の排出抑制及び廃棄時の収集運搬ルール遵守)	TV、冷蔵庫、エアコン廃棄時のリサイクル費用支払い	○	○	○	○	○	○
	○使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	第5条	自動車の所有者の責務		○	○	○	○	○	○
		第8条	自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務		○	○	○	○	○	○
	○資源の循環的利用等の推進 静岡県生活環境保全条例	第73条	使用済自動車の業者への引渡し	廃車時のリサイクル料金の支払い	○	○	○	○	○	○
		第111条	事業者の責務・廃棄物発生の抑制、分別、再利用、再生利用		○	○	○	○	○	ー
	○特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	第4条	事業者の責務(化学物質管理指針に留意し使用)		ー	ー	ー	○	ー	ー
		第5条	排出量把握・届出(質量1トン以上)	第1種指定物質年間量1トン以下の為、届出不要	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	静岡県生活環境保全条例	第107条	排出の抑制に関する施策の推進		ー	ー	ー	○	ー	ー
		第108条	指定化学物質の適正管理等		ー	ー	ー	○	ー	ー
	○ELV規制		鉛、カドミウム、水銀、クロム非含有製品の納入		○	○	○	○	○	○
	○REACH規制		リーチ適合材料製品の納入		○	○	○	○	○	○
	○水銀に関する水俣条約		水銀使用製品産業廃棄物の適正措置	廃蛍光灯	○	○	○	○	○	○
	○フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第16条	点検、修理、再充填履歴の記録・保存	パッケージエアコン	○	○	○	○	○	○
		第18条	管理者判断基準 点検の実施	簡易点検:1回/3ヶ月、定期点検:1回/3年	○	○	○	○	○	○
		第37条	再充填の適正化		○	○	○	○	○	○
		第39条	回収の義務		○	○	○	○	○	○
	○消防法	第9条4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱い基準		ー	ー	ー	○	ー	ー
		第13条	危険物取扱い作業時の保安監督	危険物取扱者の設置:高橋工場	ー	ー	ー	○	ー	ー
		第17条3	消防用設備点検・報告	消火器、自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
		第18条	消防用設備の損壊禁止		○	○	○	○	○	○
		第21条	検定合格消防用設備の設置	消火器、自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
		令第3条	総括防火管理者		○	○	○	○	○	○
		令第4条	自衛消防組織		○	○	○	○	○	○
	○労働安全衛生法	令第21条	自動火災報知機の設置	自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
		第3条	事業者等の責務		○	○	○	○	○	○
	○自動車等の使用に伴う環境への不可の低減 静岡県生活環境保全条例	第20条	事業者の講ずべき措置等		○	○	○	○	○	○
		第103条	環境への負荷が少ない自動車の購入		○	○	○	○	○	ー
		第104条	自動車等の効率的な使用		○	○	○	○	○	ー
	静岡県生活環境保全条例	第105条	駐車時のエンジン停止		○	○	○	○	○	ー
責務・努力	○環境基本法	第8条	事業者の責務(ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)		○	○	○	○	○	○
	○地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	事業者の責務(温室効果ガス排出の抑制に努める)		○	○	○	○	○	○
	○循環型社会形成推進基本法	第11条	事業者の責務(廃棄物なることの抑制)		○	○	○	○	○	○
		第12条	国民の責務(循環型社会の形成促進と協力)	廃棄物の3R及び適正処理の推進	○	○	○	○	○	○
	○資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)	第4条	事業者等の責務(再生資源及び再生部品を利用)	パソコン	○	○	○	○	○	○
	○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	事業者及び国民の責務(積極的な環境物品調達)	エコ製品(事務用品、省エネ製品等)	○	○	○	○	○	○

義務:守らなければいけないこと 責務:義務の場合のように具体的な行為ではなく、抽象的・総合的な政策的行為

【参考】

※法の最新情報 [e-Gov http://law.e-gov.go.jp/](http://law.e-gov.go.jp/)

(e-Gov:総務省行政管理局運営の総合的行政情報ポータルサイト)

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況

該当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

関係機関からの指摘、利害関係からの訴訟も過去3年間ありません。

評価日:2019年7月20日

評価者:永野

区分	法令等の名称	該当する 条項等	遵守事項又は規制基準	備考	○:遵守	×	○:非遵守	○:非該当		
					飯田	下野	松野	高橋	内田	九州
義務	○特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	第2条	水質汚濁特定施設 騒音発生施設・振動発生施設	浄化槽 機械プレス機、空気圧縮機	○	○	○	-	○	-
	○騒音規制法	第5条	規制基準遵守義務		○	○	○	○	○	○
		第6条	特定施設設置届出		○	○	○	○	○	○
		第8条	特定施設の変更届		○	○	○	○	○	○
	静岡県生活環境保全条例	第50条	規制基準値の遵守義務	第4種区域:高橋 第2種区域:高橋以外	○	○	○	○	○	○
		第53条	特定施設設置届出	空気圧縮機15kw 台 送風機7.5kw 台	○	○	○	○	○	○
		第55条	規制基準遵守義務		○	○	○	○	○	○
	○振動規制法	第6条	特定施設(施行令第1)の届出		○	○	○	○	○	○
		第8条	特定施設の変更届		○	○	○	○	○	○
		第79条	規制基準値の遵守義務	第2種区域:高橋 第1種区域:高橋以外	○	○	○	○	○	○
	○浄化槽法	第80条	特定施設設置届出	空気圧縮機15kw 2台	○	○	○	○	○	○
		第5条	設置または変更時の届出	浄化槽	○	○	○	-	○	-
		第7条	水質検査	4回/年	○	○	○	-	○	-
		第8条	保守点検	同上	○	○	○	-	○	-
		第9条	清掃	1回/年	○	○	○	-	○	-
		第11条	定期検査	同上	○	○	○	-	○	-
	○廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第2条	国民の責務	排出抑制・分別徹底・再生利用	○	○	○	○	○	○
		第3条	事業者の責務(適正処理・排出の抑制)	排出抑制・分別徹底・再生利用	○	○	○	○	○	○
		第5条	清潔の保持(土地・建物の清潔維持)	廃棄物置き場	○	○	○	○	○	○
		第6条2	一般廃棄物運搬及び処理委託業者	収集運搬及び処理業者に委託	○	○	○	○	○	○
		第12条2項	廃棄物の適正保管	保管基準遵守、保管場所表示	○	○	○	○	○	○
		第12条5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬、処分許可業者への委託	○	○	○	○	○	○
		第12条6項	運搬又は処分委託時の処置基準遵守	処理業者、処分業者との契約締結	○	○	○	○	○	○
		第12条7項	運搬又は処分の適正化確認	最終処分場現地確認	○	○	○	○	○	○
		第12条3第1項	マニフェスト交付		○	○	-	○	-	-
		第12条3第2項	マニフェスト保管	A票5年保管	○	○	-	○	-	-
		第12条3第6項	マニフェスト保管	B2、D、E票の5年保管	○	○	-	○	-	-
		第12条3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6月30日迄に提出	○	○	-	○	-	-
		第12条3第8項	マニフェスト写し送付の適切な措置の実施	D、E票の期間内返却	○	○	-	○	-	-
	○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)	第4条	事業者及び消費者責務(分別排出・再商品化推進)		○	○	○	○	○	○
	○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	事業者及び消費者責務(特定家庭用機器の排出抑制及び廃棄時の収集運搬ルール遵守)	TV、冷蔵庫、エアコン廃棄時のリサイクル費用支払い	○	○	○	○	○	○
	○使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	第5条	自動車の所有者の責務		○	○	○	○	○	○
		第8条	自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務		○	○	○	○	○	○
	○資源の循環の利用等の推進 静岡県生活環境保全条例	第73条	使用済自動車の業者への引渡し	廃車時のリサイクル料金の支払い	○	○	○	○	○	○
		第111条	事業者の責務・廃棄物発生の抑制、分別、再利用、再生利用		○	○	○	○	○	-
	○特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	第4条	事業者の責務(化学物質管理指針に留意し使用)		-	-	-	○	-	-
		第5条	排出量把握・届出(質量1トン以上)	第1種指定物質年間量1トン以上	-	-	-	○	-	-
		第107条	排出の抑制に関する施策の推進		-	-	-	○	-	-
	静岡県生活環境保全条例	第108条	指定化学物質の適正管理等		-	-	-	○	-	-
	○ELV規制		鉛、カドミウム、水銀、クロム含有製品の納入		○	○	○	○	○	○
	○REACH規制		リーチ適合材料製品の納入		○	○	○	○	○	○
	○水銀に関する水俣条約		水銀使用製品産業廃棄物の適正措置	廃蛍光灯	○	○	○	○	○	○
	○フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第16条	点検・修理、再充填履歴の記録・保存	パッケージエアコン	○	○	○	○	○	○
		第18条	管理者判断基準 点検の実施	簡易点検:1回/3ヶ月、定期点検:1回/3年	○	○	○	○	○	○
		第37条	再充填の適正化		○	○	○	○	○	○
		第39条	回収の義務		○	○	○	○	○	○
	○消防法	第13条	危険物取扱い作業時の保安監督	危険物取扱者の設置:高橋工場	-	-	-	○	-	-
		第17条3	消防用設備点検・報告	消火器、自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
		第18条	消防用設備の損壊禁止		○	○	○	○	○	○
		第21条	検定合格消防用設備の設置	消火器、自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
		令第3条	総括防火管理者		○	○	○	○	○	○
		令第4条	自衛消防組織		○	○	○	○	○	○
		令第21条	自動火災報知機の設置	自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
	○労働安全衛生法	第3条	事業者等の責務		○	○	○	○	○	○
	○自動車等の使用に伴う環境への不可の低減 静岡県生活環境保全条例	第20条	事業者の講ずべき措置等		○	○	○	○	○	○
		第103条	環境への負荷が少ない自動車の購入		○	○	○	○	○	-
		第104条	自動車等の効率的な使用		○	○	○	○	○	-
	責務・努力	第105条	駐車時のエンジン停止		○	○	○	○	○	-
		○環境基本法	第8条	事業者の責務(ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)		○	○	○	○	○
		○地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	事業者の責務(温室効果ガス排出の抑制に努める)		○	○	○	○	○
		○循環型社会形成推進基本法	第11条	事業者の責務(廃棄物なごとの抑制)		○	○	○	○	○
		第12条	国民の責務(循環型社会の形成促進と協力)	廃棄物の3R及び適正処理の推進	○	○	○	○	○	○
	○資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)	第4条	事業者等の責務(再生資源及び再生部品を利用)	パソコン	○	○	○	○	○	○
	○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	事業者及び国民の責務(積極的な環境物品調達)	エコ製品(事務用品、省エネ製品等)	○	○	○	○	○	○

【参考】

※法の最新情報 e-Gov <http://law.e-gov.go.jp/>

(e-Gov:総務省行政管理局運営の総合行政情報ポータルサイト)

10. 代表者による全体の評価及び見直し・指示

(活動期間：2019年 6月 ～ 2020年 5月)

1. 見直しおよび変更指示

作成日 2020年 8月 7日

項 目	変更要否	変 更 内 容
環境経営方針	否	変更無し
環境経営目標	要	ガソリンの管理を追加(現状は軽油のみ)
環境経営計画	否	変更無し
環境経営システム	否	変更無し

2. 個別評価

項 目	評 価
環境への負荷の自己チェック	毎月の集計は迅速でグラフ化等による可視化が充実できた 今後は得た情報を、どの様に活かすかが重要
環境への取組の自己チェック	昨年度に対し+1.8%向上、各工場で実施している活動情報を周知し 好ましい効果を拡大していきたい
環境経営目標達成状況	全体目標は達成できたが項目毎に捉えると「焼却ゴミ低減」への達成 率が低い、ごみの減量化と再生利用の取組み強化が必要
環境経営計画の達成状況	新規取組の項目も含め計画通りの活動ができた 小刻みにPDCAを繰り返し改善活動を強化すること
環境関連法規等の遵守状況	該当する環境関連法規について遵守している 常に情報を収集・整理して要求事項を的確に把握し対応をすること
教育・訓練の実施状況	事務局と副環境管理責任者の知識を深め、各工場の特色・ニーズに あった教育を実施する
外部とのコミュニケーション の状況	苦情や要望事項等はない
内部監査の状況	全面見直しをした監査チェックシートに基づき、PDCAの観点から監査を 実施すること
緊急事態の対策と準備	緊急事態へ対応するための事前指導を行い、従業員全員の防災意 識を高めていく
規定類・手順書等の関連文書 と関連記録の最新版管理	社内規格(中規-2202「文章管理規定」)に基づき維持・管理 できており良好

3. 抱負

資源を大切に使い、排出を抑え、環境保全に努める
 持続可能な社会の実現に向けて自らの社会的責任を果たす
 環境に配慮した製品やサービスを社会に提供することにより、社会の環境負荷低減に貢献する
 環境に関する幅広い知識を礎とし環境に積極的に取り組む”人づくり”に取り組む

株式会社 中静工業所

代表取締役社長 名倉 光雄

